

# 2020～2021 年次活動計画

会長 堰野端 展 雄  
副会長 金 沢 守 昭  
幹 事 竹 島 直 樹

## 2020～2021年度クラブ活動方針



十和田東ロータリークラブ  
第56代会長 堰野端 展 雄

## 2020～2021年度十和田東ロータリークラブテーマ 支え合い、共に歩む

新型コロナウイルスが私たちの生活に様々な影響を与え続けている今日。それでも、時は間違いなく刻まれていきます。つまり、どのような状況であっても、私たちは、進んでいかなければなりません。

収束には2、3年かかると言われている今、ロータリーとして何が出来るのか、何をなすべきかを皆さんと共に考えながら、この厳しい年度を歩んでいきたいと思えます。

今年度のホルガー・クナーCRI会長テーマは『Rotary Opens Opportunities ロータリーは機会の扉を開く』であり、多くのメッセージがありますが、その中でも、特に次の二つに共鳴しました。

- ・奉仕の行いはその大小に関わらず、助けを必要とする人たちや地域に機会を生み出す。
- ・現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募ることに注力。

であります。

今年度、内容的には継続事業であります。新たに地区補助金を使った奉仕プロジェクト『とわだ面接セミナー』に取り組みます。これはまさに、面接を必要としている高校生に『面接』という機会を生み出す事業でありますので、一人でも多くの会員の参加をお願い致します。

また、当クラブの3～5年後を想像すると、やはり会員維持と増強が不可欠であります。だ

からと言って、手当たり次第に誰でも募るわけにはいかないと思います。当クラブになじめそうな会員でなければ、入会頂いても、その会員のおかげで退会する方ができれば、裏目になってしまいます。難しいところですが、怯まず取り組んでまいりましょう。

今年度第2830地区ガバナー、源新和彦氏は地区スローガンに「Believe Together! 信じ合おう」を掲げ、ロータリーの仲間同士、地域社会の人々、そしてロータリーの可能性・ポテンシャル・未来を信じ、ともに集い、手を取り合っていきましょうとし、10の地区目標を掲げています。一つでも多く達成できるよう、全会員で取り組んでまいりましょう。

そして、当クラブの今年度のテーマは「支え合い、共に歩む」としました。

新型コロナウイルスによって、私も含め、多くの会員が非常に厳しい会社運営を強いられていると思います。正直、ロータリーの活動に参加している場合ではないという会員もいると思います。

しかし、思い出して下さい。ポール・ハリスは、さまざまな分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場をつくらうとして、ロータリーを設立しました。

だからこそ、この難局、ロータリアン同士、支え合い共に歩んで行かなければならないと思っております。皆様の、ご協力、宜しくお願い致します。

## ロータリアンの行動規範

※2014年1月の国際ロータリー理事会決定により下記の通り改正された。

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、  
高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、  
相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、  
特別なニーズを抱える人びとを助け、  
地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの  
評判を落とすような言動は避ける。
5. 事業や職業における特典を、ほかのロータリアンに求めない。

※国際ロータリー理事会はロータリー地域雑誌の編集長に、ロータリーの目的、行動規範、四つのテストを毎号の地域雑誌に掲載するように、また特に10月の職業奉仕月間には職業奉仕活動を促進するよう奨励している。(注=現在職業奉仕月間は1月です)